

■ 研究課題名

31 MSM (Men who have sex with men) におけるクラミジア・トラコマティス血清型の遺伝子解析

※研究計画変更に伴う再審査

■ 研究の概要

クラミジア・トラコマティスには LGV 型と Trachoma 型の 2 種類の生物型がある。近年、ヨーロッパや北米では、MSM のクラミジア患者から LGV 型の発生が増加している。本生物型は、鼠径部リンパ節腫を起こすとされているが、わが国ではほとんど発生をみない。2020 年の東京オリンピックに向け、訪日外国人数の増加が予想され、海外からの性感染症の流入が懸念される。そこで、MSM コミュニティーで伝播しているクラミジア・トラコマティスの特徴を把握し、東京都の性感染症対策への科学的エビデンスの一助とする。

■ 研究期間

平成 30 年度から令和 2 年度まで

■ 研究機関の名称及び研究機関の長

東京都健康安全研究センター 所長 大井 洋

■ 研究責任者の氏名

微生物部病原細菌研究科

横山 敬子